

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2023年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項・監督会議本大会申し合わせ事項により実施する。日本陸上競技連盟が示す「競技会開催について(第5版)のガイドンス」に基づき実施する。

2 ウォーミングアップは、多目的広場にて行うこと。投てき物を投げることはできない。また、公園内(遊戯施設付近)での練習等は禁止とする。

朝の本競技場の使用について ※開場7:00～

①トラック・跳躍場:別記競技場の使用についてを参照すること。ただし、開会式の際は練習を中断すること。

トラック内芝でのジョグ、体操、ドリルなどは禁止とする。

②投てき:別記競技場の使用についてを参照すること。当日競技がある投てき種目のみ練習を認める。

※バックストレートの開放について及び競技終了後の競技場使用については別記競技場使用についてを参照すること。

3 招集について

①競技開始時刻の**40分前**までに**競技場内管理棟南側倉庫内の簡易招集所**で自分のナンバーに○をつける。

②トラック競技はスタート地点、4×100mRは各スタート場所に**競技開始10分前**、フィールド競技は現地に**競技開始30分前**までに集合する。この時刻が招集完了時刻になる。

③混成競技において、第1日、第2日ともに第1種目目は簡易招集所で○をつける。それ以降の種目については、トラック種目は10分前、フィールド種目は20分前に現地に集合し係の点呼を受ける。

4 規定外のシューズの使用を認めない。

5 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子	1m40～ 1m65～	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以後+3cm
女子	1m10～ 1m45～	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	
混成男女	選手・天候の状況により決定し、3cmずつ上げる。								

6 棒高跳のバーの上げ方は、選手・天候の状況により決定する。

7 リレーオーダー用紙の提出は、最初の組の招集完了時刻の1時間前まで簡易招集所に提出すること。

8 セパレートレーンの競技では、ゴール後も自分のレーンを走ること。

9 同タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定は下記による。

①800mまでの競走

同タイムの場合、写真判定の拡大写真(0.001秒)によるが、それでも同着の場合は、抽選とする。

②1500m以上の競走

同タイムの競技者はすべて次のラウンドに進める。

10 棒高跳のポールは、検定のうえ、使用してもよい。

11 ハンマー投の練習は大会期間中は禁止とする。サブトラックも同様とする。

12 男子総合、女子総合6位まで、男子、女子ともにトラック3位、フィールド3位、優秀選手には賞状を授与する。

13 各種目の表彰は実施しない。競技終了後、賞状は記録室前に準備する。

14 県大会出場者は男女ともに11名(リレーは8チーム)、女子2000mSCについては各地区予選記録の上位15名、混成種目は各地区予選記録の上位8名とする。ただし、追い風参考記録も含める。

*フィールド競技の場合、同順位のとときは県大会出場権決定戦を行う。

15 該当種目に出場する選手以外は、競技場に入らないこと。また、本部役員席前は通行禁止とする。

16 競技欠場と多種目同時出場の取り扱いについて(用紙は簡易招集所に準備)

①トラック競技は競技開始40分前までに「欠場届」または、「多種目同時出場届」を簡易招集所に提出する。

②フィールド競技は競技開始1時間前までに「欠場届」または、「多種目同時出場届」を簡易招集所に提出する。

③リレー競技はリレーオーダー用紙提出時間までに「欠場届」を簡易招集所に提出する。

17 その他

①フィールド種目のコーチングエリアについては、主催者が場所を指定する。

②該当種目に出場する選手以外は競技場に入らないこと。また、正面入口及び本部役員席前は通行禁止とする。

③滑り止め(炭酸マグネシウム)は各自準備することとする。

④盗撮防止のため、大会時の写真・動画については、ソーシャルメディア(SNS)で掲載及び配信しないこと。

また、撮影にあたっては、主催者の指示に従うこと。